

神経細胞に対するグルタチオンの作用

- ① パーキンソン病は大脳基底核の線状体でのドーパミンの産生不足が原因である。
- ② フリーラジカル・スカベンジャーであるグルタチオンは脳内で絶えず発生する活性酸素を消去して、活性酸素から脳神経細胞を守る役割があるが、パーキンソン病ではグルタチオンが脳内に著明に減少している。
- ③ グルタチオン大量点滴は脳幹黒質細胞のドーパミンの産生を促し、またパーキンソン病の原因であるドーパミン受容体の感受性を高める効果があると考えられている。

